

2020.09.17.Thursday

学修・教育開発センター（CRED）

スタートアップセミナー自主自律は、2年以上の準備期間を経て、2019（令和元）年から板橋校舎（家政学部・人文学部）の共通教育・初年次必修科目としてスタートしました。一方で、板橋校舎での取り組みを参考にし、狭山校舎（子ども支援学科、リハビリテーション学科）においても、「自校教育を学ぶ」という達成目標のもと、授業が実施されています。方法論、細部は違えど、同じ東京家政大学生としての学びに変わりはありません。本号では、狭山校舎での取り組みについてご報告をいただきます。

子ども支援学科の取り組み



保坂遊 教授
子ども支援学科

本学科では、今年度の授業を4クラス4名の教員で担当し、manabaを活用して実施しました。グループワークでは〔プロジェクト〕機能のスレッドを用いて、各グループがディスカッションを進めていきました。新入生同士、顔が見えない戸惑いもありましたが、話し合いを重ねるごとに、互いのワークシートを熟読し、意見を述べあいながら相互理解を図り、新たな考えを創出していったのではないかと思います。文字のみのやり取りによる煩わしさも当然あったかと思いますが、その分、互いの意見をしっかり受け止め

（傾聴）、思考が文章化された意見が積み重ねられ、対面授業時よりかえって濃い内容となる一面もありました。歴史パートでは本学創世期や戦後教育改革期の関係者、先輩方の想いを受け止め、後半のプロジェクトでも、現代社会における女性の課題を保育や子育ての視点とも絡めて調査し、それぞれ個性的な問題提議を発題してくれました。

また、今年度から採用となったSA、4年生もオンライン上で見事に役割を果たしてくれ、後輩への助言、励まし、自身の学びとしても、活躍してくれました。

リハビリテーション学科の取り組み

本学科では、作業療法学専攻と理学療法学専攻の共同科目として取り組みました。作業療法学専攻の磯先生と授業全体のマネジメントを行い、各授業は、学科の全教員が順番に担当する学科全体で学生をサポートする取り組みを行いました。授業では、Webex meetingsとmanabaを活用して実施し、グループワークではWebex Trainingを用いて、慣れないながらも意見を絞り出し、ディスカッションを進めていきました。大学で顔を合わせることもないまま始まった授業の中のグループワークは本当に難し

かったと思います。しかし、新入生は、直接対面で意見を言い合えないからこそ、協力するという気持ちと相手を思いやる気持ちを高めることができました。その結果、発言と傾聴の力は随分と向上し、課題以上のものを得たと思います。この困難な環境で、新入生は、東京家政大学について多くを学び、考え、悩んだと思います。更なる学科、学生の向上を考え、後期に感染対策を十分整えた上で、対面でのグループワークを実施し、今後も作業療法士・理学療法士を目指す基礎を身に付けるサポートを続けていきます。

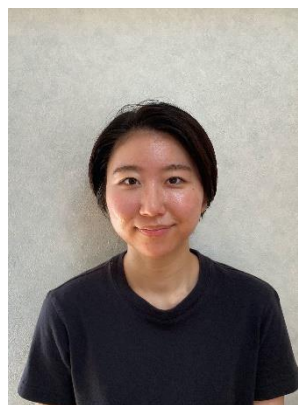


村上幸士 准教授
リハビリテーション学科

SAからのレポート

狭山校舎ではSAの配当は今年が初めてとなりました。記念すべき初年度のSAをお勤めいただいたKさんにお話を伺いました。

私は、今回初めてSAを担当させて頂きました。今年は、新型コロナウイルスの影響で授業がオンラインになり、今まで行ったことのない授業形態になりました。私は、初めてのSAという役割を行うにあたって、全てオンライン上のやりとりになることに最初は戸惑いがありました。そして、一年生もとても不安が大きかったのではないかと思います。お互いに顔を合わせない状況ですが、少しでも一年生のサポートが出来たらという思いで、授業に臨みました。SAとして授業に参加し、出席確認やグループワークのアドバイス等を行いました。アドバイスをするにあたり、様々な視点からグループワークを見つめたり、一年生が前向きな気持ちで取り組めるような言葉がけを心がけました。最初は、自分の言葉が一年生にうまく伝わっているのかとても不安でした。回数を重ねる中で、先生方とオンライン上でやりとりを行いサポートして頂き、自分の役割に自信を持つことができ、SAとしてやり切ることができました。この経験は自分のスキルアップにつながり、SAをすることができてとてもよかったと思いました。ありがとうございました。



K.Y.さん

子ども学部
子ども支援学科
4年

授業の感想を紹介します

授業アンケートの自由記述の中から、いくつかのコメントを紹介いたします。

- 過去・現在・未来の女性問題についてこの大学との関わりを交えながら学べてとてもわかりやすく学ぶことができました。グループワークでは直接会っていないため、時差があったり入力に時間がかかり時間内に決めなければいけないことを十分にできなかったのが多々ありました。その中でも協力して取り組めたのでよかったです。
- 他の授業ではほとんどが勉強して、それに対して提示された課題を行うといった一人での学習だったので、知り合いや友達が一人もいなかったのですが、スタートアップセミナーの授業を通して、グループ活動をし学びを深めると共に友達をつくることが出来たので嬉しかったです。
- この授業は、唯一リアルタイムで同じ学科のメンバーと話しあい、意見交流が出来る授業で、毎週とても楽しい授業でした。初めの頃は大変なことも多かったけれど、回を重ねるごとに自分自身も成長できたのを感じることができ、人の考えや意見を聞き合い受け入れることと同時に自分が苦手だった人に自分の意見を伝えることも積極的にできるようになった気がします。チーム全体で受け入れ合い、困った時はお互いに助け合うという温かい雰囲気の中で、多様な価値観や考え方を感じながら話し合いを行えたことが、グループ活動ならではの学びだと感じました。役割もすべて経験し、話し合いの時の工夫や、チームに貢献するにはどのように話し合いに参加していくべきかなど、毎回の授業も試行錯誤でしたが、一つ一つ経験や学びを積み重ねることができました。また、事前学習の課題を相互閲覧することができたので、共感したり、新しい発見や学びを通して、多様な考え方を感ずることができ、この授業ならではの学び方ができたと思います。先生の授業の進め方のスライドも毎回丁寧で、話し言葉での指示がなくてもわかりやすく、スムーズにグループ活動を行うことが出来ました。